
第6部 用語集

No.	初出	用語	解説
1	P.3	標準的な健診・保健指導プログラム（平成30年度版）	糖尿病等の生活習慣病有病者・予備群の減少，中長期的な医療費の伸びの適正化を図るため，医療保険者が効果的・効率的な保健指導を実施するよう厚生労働省健康局が作成した健診・保健指導の方向性を示すもの。平成30年4月に改訂版が出されている。
2	P.6	K D B（国保データベース）システム	<p>国保連合会が保険者の委託を受けて行う国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険制度の審査支払業務及び保険者事務共同電算業務を通じて管理する「特定健診・特定保健指導」，「医療」，「介護保険」等に係る情報を利活用し，統計情報等を保険者向けに情報提供することで，保険者の効果的かつ効果的な保健事業の実施をサポートすることを目的として構築されたシステム。</p> <p>国，県，同規模市町村等との比較が可能となる。</p>
3	P.7	標準化死亡比	<p>standardized mortality ratio(SMR) のことで，ある集団の死亡率を年齢構成比の異なる集団と比較するための指標。</p> <p>「実際の死亡数÷計算上の期待死亡数×100」で算出される。</p>
4	P.7	脳血管疾患	脳動脈に異常が起きることが原因でおこる病気の総称で，一般に脳卒中といわれる。脳の血管が詰まる脳梗塞や，脳の血管が破れて出血する脳出血やクモ膜下出血に大別される。死亡率が高く，一命をとりとめても，何らかの後遺症を残す人が多い。
5	P.8	糖尿病	すい臓が作り出すインスリン量が不十分もしくは作用不足であることにより，摂取した食物エネルギーを正常に代謝できず高血糖になる状態。
6	P.8	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	たばこ煙を主とする有毒物質を長期間吸入することによって生じる肺の炎症による病気。正常な呼吸が困難になり，せき，たん，息切れなどの症状がみられる。
7	P.8	健康寿命	<p>WHO（世界保健機関）が提唱した指標で平均寿命のうち，健康で活動的に暮らせる期間のことを指す。様々な算出方法があるが，本計画ではKDBシステムに掲載される健康寿命を用いる。日常生活動作が自立している期間の平均として厚生労働省HPから取得した市区町村別生命表を基に以下の計算の上，算出している。</p> <p>$0\text{歳平均余命} - 65\text{歳平均余命} - (1 - \text{介護認定者数} \div 40\text{歳以上の人口}) \times \text{定常人口} \div 65\text{歳生存数}$</p>
8	P.9	高血圧	安静状態での血圧（血液が全身に送り出される際の血管にかかる圧力のこと）が慢性的に正常値よりも高い状態。高血圧になると血管に常に負担がかかるため，血管の内壁が傷ついたり，柔軟性がなくなって固くなったりして，動脈硬化を起しやすくなる。

No.	初出	用語	解説
9	P.9	脂質異常症	血液中にふくまれるコレステロールや中性脂肪といった脂質が必要量以上になって、血管の壁にたまり、血管の内腔が狭くなってしまふ、いわゆる血液がドロドロの状態。自覚症状がほとんどない。
10	P.20	人工透析	腎不全等で腎臓の機能が低下し、体内の老廃物を除去できなくなった場合に、人工的に血液を浄化する方法。
11	P.21	法定報告	国へ報告する特定健康診査の結果。実施年度の翌年度11月1日までに社会保険診療報酬支払基金を通じて国へ報告する。報告対象は、加入者のうち特定健康診査の実施年度中に40～74歳となる者で、かつ当該実施年度の一年間を通じて加入している者となる。実際は年度途中での加入・脱退等があるため健診データの実施者数（実数）と法定報告実施者数には差異が生ずる。そのため本計画では、健診データを「法定報告」「実数」データと分けて記載している。
12	P.29	糖尿病性腎症	糖尿病の合併症の一つ。腎臓の糸球体と呼ばれる、血液を濾過する役割の機能に障害が起きる。自覚症状がほとんどない。
13	P.39	収縮期血圧	心臓が収縮したときの血圧。血液が心臓から全身に送り出された状態で、血圧が最も高くなるため、最高血圧とも呼ばれる。
14	P.39	拡張期血圧	心臓が拡張したときの血圧。全身を循環する血液が肺静脈から心臓へ戻った状態で、血圧が最も低くなるため、最低血圧とも呼ばれる。
15	P.39	LDL - コレステロール	細胞内に取り込まれなかった余剰なコレステロールを血管内に残存させ、動脈硬化を促進させる。数値が高いと血管にコレステロールがたまりやすくなる。「悪玉コレステロール」とも呼ばれる。
16	P.39	BMI	Body Mass Index（体格指数）の略で、肥満度を指す国際的な指標。「体重（kg）÷（身長（m）×身長（m）」で算出される。18.5～25未満が標準体重とされ、BMI値が低すぎても高すぎても死亡率が高まるとされる。
17	P.39	中性脂肪	人間の体を動かすエネルギー源となる物質。主に食物から取得された脂質は、小腸から吸収されて血液中に入り、体内の生命維持活動に利用されるが、使い切れず余ったエネルギーは中性脂肪として、体内に蓄えられる。炭水化物の過剰摂取や、飲酒（アルコールの摂取）によっても増加する。
18	P.39	尿酸	食事や運動、細胞の代謝やエネルギー代謝の過程で作られたプリン体から生成されるもので、エネルギーの燃えカスのようなもの。生活習慣の乱れなどによって、作られすぎたり、排泄されなかったりすると、体内で尿酸が蓄積され、高尿酸血症、痛風となる。

No.	初出	用語	解説
19	P.39	HDL - コレステロール	コレステロールは細胞膜やホルモン、胆汁などの材料であり、生命の維持に欠かせない物質。HDL - コレステロールは血管内壁に蓄積された余分なコレステロールを抜き取って、肝臓まで運ぶ働きをする。数値が低いと動脈硬化が進む。「善玉コレステロール」とも呼ばれる。
20	P.39	クレアチニン	筋肉運動のエネルギー源となるアミノ酸の一種クレアチンが代謝されてできた物質。腎臓の糸球体で濾過され、尿として排泄される。クレアチニンの数値が高いと、腎機能の低下を示唆する。
21	P.39	HbA1c (ヘモグロビンエーワンシー)	血液の中にあるヘモグロビン (赤血球の中にあるたんぱく質) のうち、糖と結合しているもの割合を示す。高血糖であるほど HbA1c 値も高くなる。
22	P.40	尿蛋白	腎臓の糸球体に病気が起こると、多量の蛋白質が尿に排出され、尿蛋白が出る。激しい運動や高熱などによっても症状が出るためがあるので、一過性のものかどうか見定めが必要。
23	P.40	eGFR (推算糸球体ろ過量)	血清クレアチニン値から算出した、腎機能 (腎臓の糸球体が老廃物をろ過する機能) の指標の一つ。eGFR 値が低いほど、腎機能の低下を表す。
24	P.41	I 度・II 度・III 度高血圧	血圧の程度によって分けた分類。数字が上がるほど重症度が高い。血圧値の分類は以下のとおり。 I 度高血圧 140 ～ 159 かつ / または 90 ～ 99 II 度高血圧 160 ～ 179 かつ / または 100 ～ 109 III 度高血圧 180 以上 かつ / または 110 以上 (単位 / mmHg)
25	P.44	慢性腎臓病 (CKD)	腎臓の機能が慢性的に低下して正常に働けなくなった状態。慢性腎臓病が進行して末期腎不全に至ると、腎臓の機能が極度に低下し、人工透析か腎臓移植が必要になる。
26	P.44	メタボリックシンドローム	肥満 (特に内臓脂肪型肥満) に加えて、高血圧、高血糖、脂質異常のうちの、いくつかの危険因子を併せ持った状態。心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい。
27	P.45	受療勧奨	医療機関を受診していない人に対して、受診を勧奨することは厚生労働省健康局の「標準的な健診・保健指導プログラム (改訂版)」(平成 25 年 4 月) において「受診勧奨」と定義されるが、受診勧奨値を超える検査値を対象とした場合は医療機関による治療を勧奨する必要があると考えられ、本計画においては健診の受診勧奨との区別の意味で「受療勧奨」と記載する。

No.	初出	用語	解説																																																											
28	P.45	受療勧奨値	<p>医療機関の受診を勧める基準については、本市は「標準的な健診・保健指導プログラム」の「受診勧奨判定値」とは異なる独自の基準を設定しており、本計画においては本市の受診勧奨基準を「受療勧奨値」と呼ぶ。</p> <p>【医療機関の受診を勧める基準】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準</th> <th>国基準※</th> <th>福岡市基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>140～</td> <td>160～</td> </tr> <tr> <td>拡張期血圧</td> <td>90～</td> <td>100～</td> </tr> <tr> <td>中性脂肪</td> <td>300～</td> <td>400～</td> </tr> <tr> <td>HDL コレステロール</td> <td>～34</td> <td>～29</td> </tr> <tr> <td>LDL コレステロール</td> <td>140～</td> <td>180～</td> </tr> <tr> <td>空腹時血糖</td> <td>126～</td> <td>126～</td> </tr> <tr> <td>HbA1c (NGSP)</td> <td>6.5～</td> <td>6.5～</td> </tr> <tr> <td>AST (GOT)</td> <td>51～</td> <td>61～</td> </tr> <tr> <td>ALT (GPT)</td> <td>51～</td> <td>61～</td> </tr> <tr> <td>γ-GT (γ-GTP)</td> <td>101～</td> <td>101～</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">血色素量</td> <td>男性</td> <td>～12.0</td> <td>～11.9</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>～11.0</td> <td>～10.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">血清クレアチニン</td> <td>男性</td> <td>基準なし</td> <td>1.30～</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>基準なし</td> <td>1.10～</td> </tr> <tr> <td>尿糖</td> <td></td> <td>基準なし</td> <td>(+)～</td> </tr> <tr> <td>尿蛋白</td> <td></td> <td>基準なし</td> <td>(++)～</td> </tr> <tr> <td>尿潜血</td> <td></td> <td>基準なし</td> <td>(++)～</td> </tr> </tbody> </table> <p>※国基準は「標準的な健診・保健指導プログラム [改訂版]」の「受診勧奨判定値」</p>	基準	国基準※	福岡市基準	基準	140～	160～	拡張期血圧	90～	100～	中性脂肪	300～	400～	HDL コレステロール	～34	～29	LDL コレステロール	140～	180～	空腹時血糖	126～	126～	HbA1c (NGSP)	6.5～	6.5～	AST (GOT)	51～	61～	ALT (GPT)	51～	61～	γ-GT (γ-GTP)	101～	101～	血色素量	男性	～12.0	～11.9	女性	～11.0	～10.9	血清クレアチニン	男性	基準なし	1.30～	女性	基準なし	1.10～	尿糖		基準なし	(+)～	尿蛋白		基準なし	(++)～	尿潜血		基準なし	(++)～
基準	国基準※	福岡市基準																																																												
基準	140～	160～																																																												
拡張期血圧	90～	100～																																																												
中性脂肪	300～	400～																																																												
HDL コレステロール	～34	～29																																																												
LDL コレステロール	140～	180～																																																												
空腹時血糖	126～	126～																																																												
HbA1c (NGSP)	6.5～	6.5～																																																												
AST (GOT)	51～	61～																																																												
ALT (GPT)	51～	61～																																																												
γ-GT (γ-GTP)	101～	101～																																																												
血色素量	男性	～12.0	～11.9																																																											
	女性	～11.0	～10.9																																																											
血清クレアチニン	男性	基準なし	1.30～																																																											
	女性	基準なし	1.10～																																																											
尿糖		基準なし	(+)～																																																											
尿蛋白		基準なし	(++)～																																																											
尿潜血		基準なし	(++)～																																																											
29	P.66	ジェネリック医薬品	<p>ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、先発医薬品と同一の有効成分を同一量含み、同一経路から投与する製剤で、効能・効果、用法・用量が原則的に同一であり、先発医薬品と同等の臨床効果・作用が得られる医薬品をいいます。研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安くなっています。</p>																																																											
30	P.66	公費（公費負担医療制度）	<p>社会福祉及び公衆衛生の向上発展を期するための施策で、国及び地方公共団体が一般財源を基礎として、医療に関する給付を行う制度である。</p> <p>国が行うものは、個々の法律に基づき、多種多様である。福岡市が行うものは、条例等に基づき、子ども医療費助成、ひとり親家庭等医療費助成、重度障がい者医療費助成の3制度がある。</p>																																																											
31	P.86	空腹時血糖	<p>血液の中にある糖の量を示す。食事の内容で数値が左右されやすいために、空腹の状態で計測する。</p>																																																											